



# 日米政治のリスク

kinsFX&FPアドバイザー  
荻野金男

# トランプラリーの行って来い！

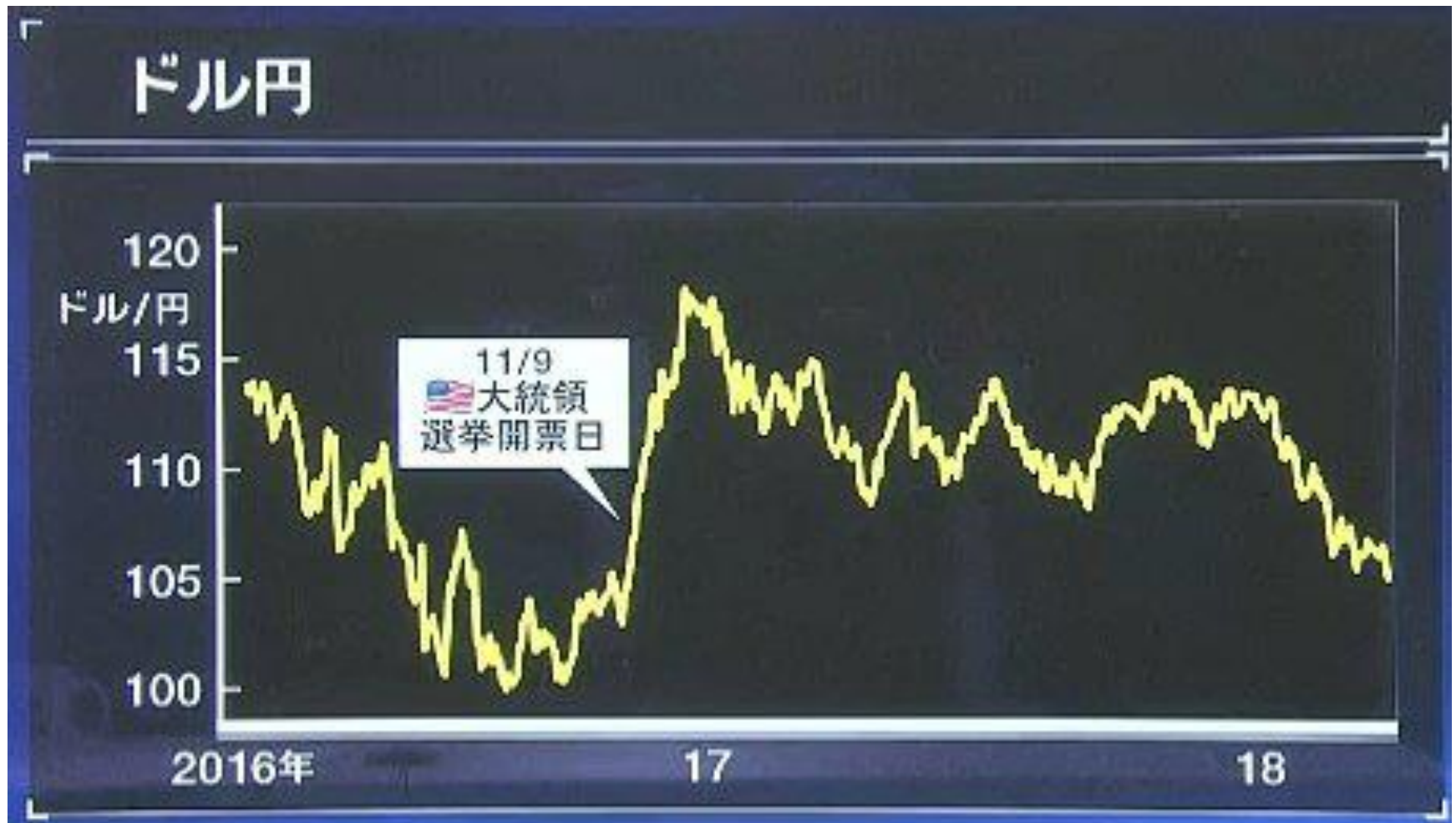
ドル円は104.64円まで朝方下落3月23日  
これは...

2016年11月9日

米国大統領選挙開票日の水準に戻った。

2017年ドル円が上昇したのは、  
減税などの期待が込められていた。

# ドル円推移2016-2018年3月23日



# 対内外証券投資

海外勢、2年ぶり大幅売り越し「23日発表の対外及び対内証券売買契約などの状況で、海外勢は3月11～17日に日本株を4週連続で売り越し。売越額は1兆1532億円で2016年3月以来、2年ぶりの高水準だった。海外勢の売りに止まる気配が見られず。

クイックより

# 対内外証券投資

## 対内対外証券投資

### 対内投資(株式)ネットとTOPIXの推移

■ プラス(流入超過)   ■ マイナス(流出超過)   — TOPIX



## 目先のリスク

- ①FOMCを前にそもそもの騒ぎの発端である金利上昇アレルギー  
(米国を追従するような英欧日の金融引締めリスクも)
- ②23日に発動予定の米輸入関税措置による世界的な貿易戦争激化懸念
- ③すっかり忘れられている？23日期限の米つなぎ予算協議紛糾懸念
- ④③次第でもあるインフラ投資を含むトランプ大統領政策の実現困難懸念
- ⑤①－④次第で台頭する物価を含む米景気と企業業績の「先行き」懸念
- ⑥トランプ政権内の露ゲート疑惑を始め政権崩壊懸念(支持率は上昇中)
- ⑦FBショックの影響懸念(主役のFBを始めSNS関連株は続落中)
- ⑧中東地政学リスク(足元の原油高の口実にはなっている)、
- ⑨欧州政治リスク(22－23日EU首脳会議、23日は伊議会招集)
- ⑩中国リスク(全人代閉幕を経て落ち着いている)
- ⑪北朝鮮リスク(落ち着いている)
- ⑫国内政治リスク、①－⑩も含めた国内景気と企業業績の「先行き」懸念
- ⑬継続している外国人による日本株売り、  
海の向こうの巻き戻し余地が大きい需給環境

# ネガティブシナリオ

●ネガティブシナリオの焦点は、2月のようにアレルギー反応が再発し、悲鳴と共に米長期金利だけでなく短期金利も低下に転じ(債券買い)、それを好感した米株高ではなく、ベタなリスクオフである債券買い(金利低下)株売り(油売り)となり、ドルについては、本来ならばドル安(円高)となりますが、需給的な巻き戻し要素が強くなるならばドル高(円最強高)となることです

●最悪のネガティブシナリオとしては、現状を顧みない厳しい金融引締め姿勢だと捉えられ、米短期金利急騰(長期金利も上昇)ドル高が加速する一方で、米株が悲鳴を上げることになり(原油も新興国も)FRBの舵取り失敗や！債券(中銀)バブル崩壊や！と言われることです。さらに貿易戦争懸念に米財政悪化懸念までがトッピングされ、米長短金利上昇(債券安)ドル安、米株安(原油安も)というトリプル安に陥ることです。